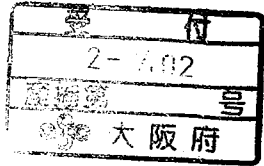


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 2年 6月26日

大阪府知事 吉村 洋文様



提出者

住 所 静岡県静岡市清水区松原町5番12号

氏 名 日軽産業株式会社

代表取締役 星 直之

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 054-353-5276

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日軽産業株式会社（（仮称）NTC第二倉庫新築工事）
事業場の所在地	大阪府貝塚市二色北町1-11
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

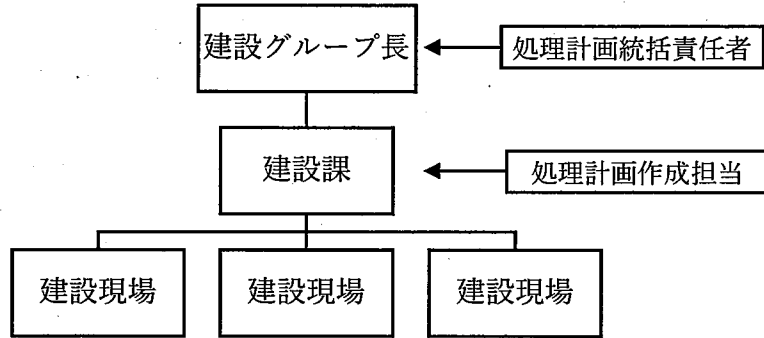
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高（前年度実績） 5,286百万円
③従業員数	221名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>             graph LR             A[工事現場] --&gt; B[コンクリートが]             A --&gt; C[アスコンがら]             A --&gt; D[木くず]             A --&gt; E[その他]             B --&gt; B1[委託処理 (中間処理・破砕)]             C --&gt; C1[委託処理 (中間処理・破砕)]             D --&gt; D1[委託処理 (中間処理・破砕、焼却)]             E --&gt; E1[委託処理 (中間処理・破砕)]             E1 --&gt; F[委託処理 (最終処分)]             </pre>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
	排出量	72.5 t	323.6 t
	(これまで実施した取組) ・ 工事施工計画に基づき、余分な材料の発生を防ぎ、廃棄物の抑制を行っている。 ・ 工事現場での廃棄物発生段階で分別し混廃を減らすようにしている。 ・ 納品業者と打合せを行い、梱包材は最小限のものとし梱包による廃棄物の抑制を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
	排出量	50 t	200 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 工事施工計画に基づき、余分な材料の発生を防ぎ、廃棄物の抑制を推し進める。 ・ 工事現場での廃棄物発生段階で分別し混廃を減らすよう推し進める。 ・ 納品業者と打合せの上、梱包材は最小限のものとし梱包による廃棄物を減らす。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・プラスチック・木くず： 発生した段階で分別し混廃を減らすようにしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度同様発生した段階で分別し混廃をへらすよう推し進める。

汚泥	建設系混合廃棄物 (安定型)	建設系混合廃棄物 (管理型)	
730 t	30.5 t	8.45 t	t

汚泥	建設系混合廃棄物 (安定型)	建設系混合廃棄物 (管理型)	
500 t	20 t	5 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
	全処理委託量	72.5 t	323.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	72.5 t	323.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物の処理を委託するに当たっては、リサイクルの推進のため、なるべく再生利用業者へ委託するようにしている。また、適切な処理を行うよう、優良認定業者に委託するように努めている。		

—	—	—	—
— t	— t	— t	— t

—	—	—	—
— t	— t	— t	— t

汚泥	建設系混合廃棄物 (安定型)	建設系混合廃棄物 (管理型)	
730 t	30.5 t	8.45 t	t
t	t	8.45 t	t
730 t	30.5 t	8.45 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
	全処理委託量	50 t	200 t
	優良認定処理業者への処理委託量	15 t	60 t
	再生利用業者への処理委託量	50 t	200 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>・引き続き、再生利用業者・優良認定業者への委託を優先し、産業廃棄物の適正処理に努める。</p>			
※事務処理欄			

汚泥	建設系混合廃棄物 (安定型)	建設系混合廃棄物 (管理型)	
500 t	20 t	5 t	t
150 t	6 t	5 t	t
500 t	20 t	5 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。